

玉北小だより



小美玉市立玉里北小学校
学校通信 No.10
平成30年6月28日

今年度から「特別の教科 道徳」が始まりました ♡♡♡

先日、講師の先生をお迎えして、6年道徳の授業研究を行いました。たくさんの教員が見守る中、6年生の子どもたちは、「自由」について真剣に考えました。自由には責任が伴うこと、良い自由と悪い自由がある時点でそれは自由とはいえない、など、子どもたちの活発な意見交換に、玉北小の頼もしさやたくましさを感じました。



積極的に意見交換・・・対話する道徳



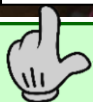
記録・・・自分の考えを言語化



授業の終わりに、自分の考えをしっかりとめ、振り返りをしました。



和やかな雰囲気、で、友達の見聞を傾聴



ここに注目！

・・・通知表に新たに道徳欄が設けられました・・・



いよいよ「特別の教科 道徳」が始まりました。新しい道徳が目指すものは、自分の生活をしっかりと振り返りながら、よりよい生き方について具体的に考え、互いを尊重しながら自己を形成し、みんなと共によりよい社会を作っていくとする資質や態度の育成です。このように考えると、一部で言われている、道徳教育が価値観の押しつけや過度の愛国心につながることを心配する必要はないことが分かります。国を愛する心は、思いやりの心や命を大切にすることを心掛けて育つようにするものだからです。

これからの道徳の授業では、子供たちがそれぞれの事象に正面から向き合い、自分のこととして真剣に考える場面が多くなります。それに伴い、大人は、子供たちの成長したところを認め、励ますことが大切になってきます。♡♡♡通知表にも、道徳に関する記述欄を設けました。玉北小では、道徳性に関わって成長したところを文章で示し、子供たちを認め、励ます評価をしていきます。ご家庭でも、ぜひそうした視点で通知表をみていただければと思います。

◆◆◆七夕飾り・じゃがいも収穫・パソコン・プール学習など、玉北小HP学校ニュースで公開中！◆◆◆